

世界のウラシーンチュ歓迎会

参加者の声



悦子ノーマンさん (アメリカ)
アメリカへ移住して、38年になります。今回の来沖は5年ぶりです。ヨーロッパなどいろんな国に行っていますが、ウチナンチュの温かさ、親切さが一番です。



福島英世さん (香港)
ぐすくまーんちゅで45年香港にいます。奄美から出てきた私は、浦添村育英会のおかげで夢を実現することができました。今のわらばーたちの夢が実現できるように私たちが頑張っていきたいといけな。みんなちばりよー!



仲田勝信さん (ペルー)
親子で今大会に参加しました。浦添市の歓迎ぶりはすごいですね。感無量です。ありがとうございます。



米須エステバンさん (アルゼンチン)
大会は初めて参加します。開会式やパレードでは海外から集まったウチナンチュが家族のように感じられ、とてもすばらしかったです。



比嘉千代子さん(右) 伊智ハルコさん(左) (ブラジル)
今回、10年ぶりの来沖で、大会は2回目となります。姉妹で参加しています。今回は市内観光などとても丁寧で分かりやすく、良かったです。盛大に歓迎されて最高です。ウラシーンチュであることを誇りに思います。



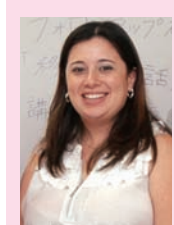
▲市長表敬にて写真撮影

浦添市では、南米に移住した本市出身者の子弟の中から優秀な人材を選抜し、日本語研修や沖縄の文化研修などを行う「南米移住者子弟研修生受入事業」を昭和63年度から実施し、平成22年度までに44人が研修を修了しています。研修修了生は帰国後、県系人3世・4世の時代のリーダーとしてそれぞれの国で活躍しています。

第5回世界のウチナンチュ大会が開催されることに伴い、4人の研修修了生を招き、浦添と移住先国との親善交流の架け橋としての役割と認識を更に深める



▲文化研修として生け花とうらそえ織コースター作りを体験



新垣シルレイ 春美 (ブラジル国(平成20年度))



仲本アナ (カンパニヤルイザ) (ブラジル国(平成19年度))



オクサス (ベルー国(平成17年度))



比嘉森川マリ エレナ (ペルー国(平成20年度))

フオローアップ研修生紹介

(内は研修修了年度)

研修報告では、研修修了生同士のネットワーク構築、若い県系人に沖縄文化を広めているためのフオローアップ研修を実施しました。

研修では、市長講話「これから浦添市」の後に、「南米子弟研修生の役割」や「南米子弟研修の効果と展望」を話し合うグループ討議があり、また、自国の市人会や県人会における活動の意見交換なども行いました。このほか、石川友紀氏(市移民史編集委員会委員長)による移民史講話、文化研修などを行いました。

研修報告では、研修修了生同士のネットワーク構築、若い県系人に沖縄文化を広めているためのフオローアップ研修を実施しました。

研修では、市長講話「これから浦添市」の後に、「南米子弟研修生の役割」や「南米子弟研修の効果と展望」を話し合うグループ討議があり、また、自国の市人会や県人会における活動の意見交換なども行いました。このほか、石川友紀氏(市移民史編集委員会委員長)による移民史講話、文化研修などを行いました。

研修報告では、研修修了生同士のネットワーク構築、若い県系人に沖縄文化を広めているためのフオローアップ研修を実施しました。

研修では、市長講話「これから浦添市」の後に、「南米子弟研修生の役割」や「南米子弟研修の効果と展望」を話し合うグループ討議があり、また、自国の市人会や県人会における活動の意見交換なども行いました。このほか、石川友紀氏(市移民史編集委員会委員長)による移民史講話、文化研修などを行いました。

第2回フオローアップ研修

10月11日(土) 17日



研修報告では今年度の南米研修生も参加し、交流の架け橋の大切さを発表しました。



10月12日から16日までの5日間に開催された「第5回世界のウチナンチュ大会」では、世界の国々から多くのウチナンチュが集まり、沖縄県を挙げて歓迎しました。浦添市では、この大会に参加した本市出身者を歓迎するため、10月15日に「第5回世界のウラシーンチュ歓迎会」を開催し、国際親善交流を行いました。

ウラシーンチュのみなさん おがえりなさい!

世界のウラシーンチュ歓迎会、うらそえ視察

午前中から行われた「うらそえ視察」では、浦添グスク・ようどれ館や首里城を巡りました。うらそえ歴史ガイドの説明に真剣に耳を傾け、質問も数多く出るなど、浦添・沖縄の歴史に高い関心を示すとともに、自身のルーツを再認識していました。また、ハーモニーセンターでは呈茶があり、わびさびの日本文化を体験し、ゆったりとした午後のひと時を過ごしました。



▼ようどれ館で歴史ガイドから説明を受ける参加者

▲ハーモニーセンターでは抹茶を堪能



▶歓迎会参加最高齢の比嘉カメ子さん(94歳)

今回の歓迎会に参加した最高齢の比嘉カメ子さん(94歳・ハワイ2世)には、市長が詠んだ琉歌が贈られ、「今回はどこに行っても盛大で、まるで私のお祝いのように歓迎してくれて、とても嬉しい」と喜んでいました。

第5回世界のウラシーンチュ歓迎会の夕方には、てだこホール市民交流室で歓迎の夕べが行われ、アメリカ、ブラジル、ペルー、アルゼンチン、香港から約70人のウラシーンチュが参加し、親戚や友人らと共に親睦を深めました。



▲伝統芸能を楽しむ世界のウラシーンチュ

迫力あるエイサー太鼓や獅子舞、琉球舞踊の優雅な舞い、三線の軽快な演奏に会場は盛り上がり、全員参加のカチャーシーで幕を閉じた歓迎会は、ウラシーンチュの絆を再認識する機会となりました。